

「プレセプシン検査試薬の基礎性能および ANCA 関連血管炎における プレセプシンの有用性に関する検討」情報公開文書

この説明文書は、「プレセプシン検査試薬の基礎性能および ANCA 関連血管炎におけるプレセプシンの有用性に関する検討」について説明したものです。

本研究は、杏林大学医学部倫理委員会の許可を受けています。

【意義・目的】

プレセプシンは、全身性の細菌感染の診断のための検査としてわが国で用いられている血液検査の一つです。しかしながら、検査の条件による測定値への影響や、他のさまざまな病気の診断における有効性についてはまだ詳しくわかっていません。

この研究では、1) プレセプシン試薬の基礎的安定性 2) プレセプシンの測定値に対する検体運搬法の影響 3) ANCA 関連血管炎の診断におけるプレセプシンの有用性 について検討します。

【方法】

2021年3月31日までの期間に、診療目的で杏林大学医学部附属病院において生化学検査の採血を行った患者さん（ANCA 関連血管炎を含む）の血液の残りをご提供いただき、プレセプシン値の測定を行い、臨床情報や他の検査値との関連について検討を行います。対象となる患者さんに、新たに負担をおかけすることは一切ありません。

【使用する情報の匿名化】

検査データを提供していただく場合、個人のプライバシーおよび個人情報の保護には十分に配慮します。研究の結果を公表する際も患者を特定できる情報は一切使用しません。データの収集・管理は個人が分からないように匿名化して行います。解析者は、個人情報分からない状態で送られたデータを解析します。データはすべてホストコンピュータに連結されないPCのみで解析を行い、外部からのアクセスも不能にします。

もし、ご自分の血液の残余検体の利用を拒まれる場合には、下記までご連絡ください。血液およびデータは利用せずに確実に消去します。また、利用を拒まれたことで一切の不利益は生じません。他にご意見ご要望等がある場合にも、遠慮なく下記までご連絡下さい。

【研究代表者】

研究責任医師：杏林大学医学部臨床検査医学 大西宏明

〒181-8611 東京都三鷹市新川 6-20-2

Tel：0422-47-5511

Fax：0422-79-3471

【収集したデータの利用目的】 学会発表、論文作成